

令和2年度 事業報告

1. 概況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という未曾有の事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動が大きな打撃を受ける中、センター事業も大きな影響を受けました。令和2年度の契約金額は、7年振りに前年を下回る1,222,945千円で、前年度比7%減、金額にして92,078千円の減収となりました。

特に派遣契約では製造業や対人接触業務（宿泊業、飲食サービス業、福祉サービス業、娯楽業など）において派遣契約の打ち切りや縮小が大きく響き、前年度に比べ10%減の66,841千円の減収となりました。また請負・委任契約については、剪定、冬囲いなど外仕事の後継者不足やコロナ禍の影響による施設・駐車場管理等の契約の打ち切り、各種イベントの中止などから、前年度に比べ4%減の25,237千円の減収となりました。

契約件数は、13,856件と前年度に比べ754件（公共△34、民間△890、家庭＋170）減少し、契約金額の減収に繋がる結果となりました。

会員数においては、各地域での出張説明会や1月から3月の会費無料キャンペーンに加え、女性会員限定のイベントや入会説明会など女性会員の増強を図った効果もあり、女性会員は増加したものの男性会員の退会者が多く、全体として2,988人と前年度に比べ88人減少しました。

就業実人員は、2,527人（前年度2,591人）で64人の減少、就業率は84.6%（前年度84.2%）で0.4ポイント増加、就業延人員は、257,467人（前年度276,056人）と18,589人の減少となりました。

事故件数については、傷害・賠償事故あわせて39件（前年度43件）で、賠償事故は前年を下回ったものの、傷害事故においては、大雪などによる転倒事故が多く発生し、前年を上回りました。事故件数は減っていますが、受注件数も減少しているため、割合から言えば決して減少しているとは言い難く、また毎年同じような事故が発生しているため、更に具体的な安全就業対策を講じ、事故撲滅に取り組む必要があります。

このように大変厳しいセンター運営を余儀なくされた一年でありましたが、結果として約710万円の黒字決算となりました。これは、コロナ禍の中で会員の皆様からセンター運営にご理解とご協力をいただき、経費の削減と収益の確保に努めた結果であると考えております。

これからもシルバー事業に対する地域の期待に応えていくため、社会の変化をしっかりと捉え、市民の暮らしのサポートや地域経済の下支えを担う公益法人としての役割を果たしてまいります。

次のとおり、令和2年度事業実績の具体的な状況について報告いたします。